

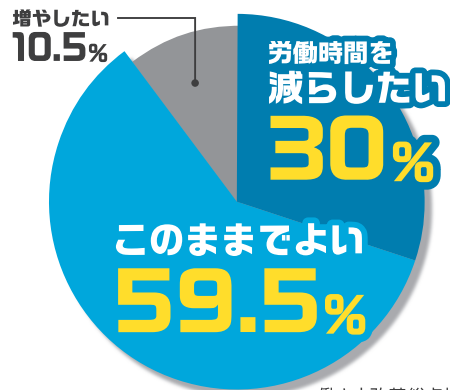
働く人々の本音は...

働く時間を増やしたくない約9割

政府の最新調査（2026年3月）では、労働時間を「増やしたい」人はわずか10.5%。

その主な理由は「たくさん稼ぎたい」「家計が厳しい」という切実な賃金への不満であり、積極的に労働時間を増やしたい人はほとんどいません。

一方で、「減らしたい」人は3割にのびります。労働者が求めているのは、労働時間の「規制緩和」ではなく、「大幅な賃金引上げ」と「時短」の両立です！



働き方改革総点検 (2026年3月5日厚生労働省公表)

裁量労働制の拡大は「定額働かせ放題」への道!



高市首相は「裁量労働制の見直し」に言及し、経済界は対象業務の拡大を狙っています。

裁量労働制とは？

実際の労働時間に関わらず、あらかじめ決めた「みなし時間」分しか賃金が支払われない制度です。仕事の仕方や時間配分などが自分で決められる（裁量がある）業務のみでその対象業務は省令などで定められています。

ここが危険!

出退勤は自由でも、仕事量は会社が決めます。労働時間の管理が及ばないところで過大な仕事を押しつけられ、長時間労働が蔓延する「定額働かせ放題」になりかねません。

労働者の声に反するこの制度は、見直しではなく「廃止」すべきです!



賃上げとともに自分の時間を増やそう!



日本の労働時間はドイツの1.5倍。過労死も増え続けているのが今の日本の現実です。私たちは政府に対し、以下の2点を強く求めます。

- 1 大幅な賃金引上げ
- 2 「1日7時間労働」など働く時間の短縮

それぞれの素敵な生活を実現するために一緒に声を上げましょう!

署名にご協力をお願いします

